

平成
31年

新入学(園)児童・園児の 交通事故防止運動

期間

4月6日(土)から12日(金)までの7日間

運動のスローガン **歩行者を守る気づかい 思いやり**

運動の
重点

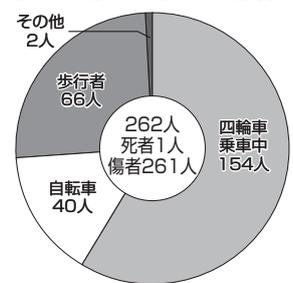
- 1 新入学(園)児童・園児の交通事故防止
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 道路横断中の交通事故防止とゆずりあい運転の実践

1 新入学(園)児童・園児の交通事故防止

◆ 子供の交通事故被害状況

平成30年中、県内では交通事故で1人(前年比±0人)の子供が死亡し、負傷したのは261人(前年比-42人)で、依然として多くの子供が犠牲となっています。

平成30年中
子供の死傷者内訳(状態別)



◆ 歩行中の事故防止

子供の歩行中の交通事故原因で、最も多いのは「飛び出し」です。



- 『信号を守る』『歩道を通る』『横断歩道を渡る』『止まる、待つ、見る』を習慣付けましょう。
- 特に保護者の方は、子供と一緒に通学路などを歩き、安全な歩き方・横断の仕方、信号の見方などを教えましょう。
- 運転者は、通学路などを通行する時には、急な飛び出しなどを想定し、思いやりの気持ちを持ち、スピードを落として安全運転に努めましょう。

◆ 自転車乗用中の事故防止

子供の自転車乗用中の交通事故原因は、交差点安全進行義務違反、一時不停止、安全不確認などの違反があった場合が多く、事故の多くが交差点で発生しています。

- 自転車も「車」であることを教え、「自転車の正しい通行方法」「乗車用ヘルメットの着用」「早めのライト点灯」「夜光反射材の装着」「点検整備」などを行い、安全な自転車利用を図りましょう。

年間スローガン：**みんながね ルール守れば ほら笑顔**



主唱 福島県・福島県交通対策協議会



2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

◆ 子供の四輪車同乗中の交通事故防止

子供が被害に遭う交通事故の中で、最も多いのが四輪車同乗中の事故です。



- 運転者は、同乗者全員がシートベルトやチャイルドシートを正しく着用したことを確認してから発車しましょう。
- 運転者は、学校への送迎などで子供が乗車しているときは、特に注意して安全運転に努めましょう。

◆ シートベルトはあなたと同乗者の命綱

平成30年中県内では、四輪車乗車中の死者は37人(前年比+8人)で、うち12人(前年比+1人)は、シートベルトを着用していませんでした。

12人のうち、6人はシートベルトを着用していれば、一命をとりとめたと思われます。

- 運転席、助手席はもちろん、後部座席についてもしっかり着用しましょう。
- 大切な子供の命を守るため、チャイルドシートを確実に取り付け、正しく使用しましょう。

3 道路横断中の交通事故防止とゆずりあい運転の実践

◆ 道路横断中の交通事故防止

歩行者が被害に遭う道路横断中の交通事故が多発しています。

- 運転者は、横断歩道などの付近で新入学(園)児童・園児をはじめ、歩行者などを見かけたら速度を落としましょう。
また、横断歩道などを渡ろうとする歩行者などを見かけたら、その通行を妨げないよう一時停止をして、交通ルールを守り、歩行者等保護の徹底を図りましょう。
- 保護者は子供に対し、道路を横断する際は無理な横断をしないこと、近くに横断歩道などがある場合は、必ず横断歩道などを渡ることを教えましょう。

◆ 『ゆずりあい運転』の実践

合流時などに他の車に道を譲らず、交通事故やトラブルが発生する場合があります。

- 運転者は、合流時などにおいて他の車に道を譲るなど、相手を思いやり、互いにゆずりあう精神を浸透させ、交通マナーの向上を図りましょう。

